

入野小学校 校長室だより

2015. 10. 9(金) No. 20 文責：芝

よく考えつくものだ！

授業を観ていて子どもたちの発想に感心したり、時には感動したりすることがあります。そんな瞬間に出会えるというのも、学校に勤務する喜びの一つです。最近出会ったそんな例をご紹介します。

5年生の算数で「4を分数で表しましょう」という課題がでました。これは未習で、子どもたちが学習しているのは、3年生の時に、

★ $\frac{3}{3} = 1$ 、 $\frac{5}{5} = 1$ のような時に1になる

5年生では、この学習の直前に、

★ $2 \div 3 = \frac{2}{3}$ 、 $\frac{2}{3} = 2 \div 3$ と表せる

ということを勉強しています。それらのことをもとに、子どもたちが考えてノートに書いたのが、次のような答えです。

① $3\frac{4}{4}$ ② $\frac{16}{4}$ ③ $\frac{4}{1}$

いかがですか。(①と②では、数値が違っていても、考え方が共通しているものは、これにまとめました。)

教科書が示している答えは「③だけ」です。これから先の学習でも③のように処理する方法を知っていれば十分。ですが、①や②の考え方を子どもたちが共有していく中で、「これって、答えはいっぱいあるがやない？」というつぶやきにつながりました。数の見方が広がっています。

それにしても、①や②を思いついた子どもは頼もしいと思いませんか。「習ってないからできない」ではなく、「習ってなくても何とかなるがやない？」という意識を感じます。

今回の授業では、「4を分数で表す時には③

のようにしてね」で済ませば、時間は大幅に短縮できました。でも、それでは①や②のような考えに出会うことはできません。

どんな授業にするのか、年間の指導計画と実際の進度を見ながら、担任の先生はかなり悩みながら毎日を過ごしています。

今回の選挙もすばらしい！

昨日、後期の児童会選挙がありました。私は入野小学校の児童会選挙に立ち合うのは今回で3回目。毎回感じるのですが、立候補した子どもたち・応援の子どもたちの演説が本当に立派です。内容の一部をご紹介します。「なぜ立候補したのか」「役員になって頑張りたいことは何なのか」で、みんなが筋の通った話をします。ただ「感心した」の一言です。

今回の児童会役員選挙の候補者は4年生から6年生まで12名。児童会の執行部になると、他の人が遊んでいる時にも仕事があります。それなのに、多くの立候補者があるというのはすごいことだと思います。ニュースで「選挙権が18歳からになる」「それに向けた教育が必要だ」という話題を見聞きます。小学生でのこんな選挙経験は、子どもたちにとってプラスになることでしょう。

当選した皆さんに大きな期待をしています。

当選しなかった人に一言。皆さんには「あなたが役員にふさわしい」と考えた人が何人もいます。言い方を変えれば「当選した人より、あなたに役員になってほしかった」と思う人がいるとも言えるでしょう。それを自信と誇りにしてほしいと願っています。

